

2021 年度 日本健康医療専門学校

自己評価報告

2022 年 4 月 1 日

学校法人創志学園



日本健康医療専門学校

目 次

1. 学校教育目標
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
3. 評価項目の達成及び取組状況
 - (1) 教育理念・目標
 - (2) 学校運営
 - (3) 教育活動
 - (4) 学修成果
 - (5) 学生支援
 - (6) 教育環境
 - (7) 学生の受け入れ募集
 - (8) 財務
 - (9) 法令等の遵守

1. 学校の教育目標

本校は、一流の柔道整復師・鍼灸師を養成する教育機関として、社会に貢献できる医療人を育成するとともに、日本の産業界で即戦力として活躍できる人材を育成することを教育目標としている。かかる目標を達成するために実務教育を実践できる教授陣を揃えるとともに、学校設備を充実・刷新することで、より実践的な教育を実現していくことを目標としている。

2. 本年度の重点的に取り組むことが必要な目標や計画

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が授業運営に影響を及ぼしたものの、可能な限りの感染症対策を施し、すべての学事日程を修了することができた。

本来、学修は教員と学生又は学生同士の接触の中で人間性を醸成し行われるものである。特に当校のような医療従事者を養成する学校においては尚更である。改めて当校のあるべき姿を直視して、医療従事者教育を行っていくことを教職員一同が目標として掲げた。現況において新型コロナウイルス感染症に関する不安定さは残るも、万難を排して学校運営に取り組んでいきたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているのか)	④	3	2	1
②学校における職業教育の特色は何か	4	③	2	1
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が 学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
⑤各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する 業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

a 課題

一流の医療人の育成を目指し、これまでも教育にあたってきた。そして一定の成果を上げてきた。新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、万難を排して本校の教育理念を堅持していきたい。

b 今後の改善方策

本校が目指す教育理念と目標に揺るぎはない。
一流の医療人を育成するためにこれまでの方針を堅持していきたい。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
④人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	③	2	1
⑤教務・財務等の組織整備等、意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
⑦教育活動等に関する情報公開が適切におこなわれているか	④	3	2	1
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

a 課題

事業計画に沿った学校運営が行われた。業務の効率化や情報公開については満足のできるレベルにあると考える。運営組織や意思決定機能は有効であるものよりスピード感のある運営体制にすることが課題である。

b 今後の改善方策

今後も学内での研修等で課題の克服と徹底を行っていききたい。教員の若年化は組織としては悪いことではないが、社会経験が浅いことについては学内教育により改善できる余地が十分にあると考えている。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修学年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されている	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	④	3	2	1
・関連分野における実践的職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	②	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる用件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保する等マネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野の先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

a 課題

コロナウイルス感染症による影響は残るものの、あらゆる対策を施し教育活動を行ってきた。次年度はコロナ前にすべての教育活動を戻すことを目標としていきたい。

b 今後の改善方策

対面授業を基本方針として今年度は取り組んできた。そして達成できた。次年度もこの体制を継続していきたい。さらに学内の人材教育等を積極的に推進していきたい。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
②資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
③退学率の低減が図られているか	4	3	②	1
④卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4	③	2	1
⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

a 課題

就職率、資格取得率ともに満足するレベルには達しているが、退学率については改善が必要である。また、卒業生の社会的評価の把握については満足するレベルにはあらず、今後の課題である。

b 今後の改善方策

退学の理由は様々であるが、特には進路先不適合がある。入学者の確保は経営課題ではあるが、入学してからの困難を考えれば、説明会等で入学希望者にしっかりとした説明が必要である。また、学生ひとりひとりに対して、より一層丁寧な指導を行っていく。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
②学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
⑦保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
⑧卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
⑩高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

a 課題

新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な支援体制を国の制度を活用して行ってきた。次年度も引き続き行っていくと同時に、就職の支援体制の強化に取り組んでいきたい。

b 今後の改善方策

学生の就職先の新規開拓に引き続き取り組んでいきたい。社会のニーズを踏まえた人材教育を推進することで、より多くの選択肢の持てる学生教育をしていきたい。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	3	2	1
②学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
③防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

a 課題

学外の実習先の確保を推進してきた。現況において受け入れ先の確保に難しさがあるも、本校の教育の根幹を成す実習教育の充実は不可欠である。

b 今後の改善方策

学外での実習体制については、既に数箇所の実習施設の確保を終えているが、本校の教育理念等を伝えていく必要がある。実習は行ったが中身が伴っていなければならない。これについては各教員が丁寧に伝え、教育体制の充実を図っていきたい。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
①学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	4	3	2	1
③学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

a 課題

学生募集活動は適正に行われている。今後も教育成果を正確に伝えて行くことが課題である。

b 今後の改善方策

今後も募集活動においては丁寧に入学希望者に伝えていきたい。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
③財務について適正に行われているか	④ 3 2 1
④財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

a 課題

当校を設置する学校法人創志学園において財務基盤は安定しており、問題はない。
財務情報公開についても体制は整備されており、透明性は確保されている。

b 今後の改善方策

今後もこれまで通りの財務情報の公開を継続していく。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
④自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

a 課題

自己評価結果の公表をHP等で一般に公表することにより、本校が置かれている状況を広く一般に告知することで、より一層の教育体制等の充実を図っていきたい。

b 今後の改善方策

今回の自己評価をもとに学校関係者評価を実施し問題点の改善を行っていきたい。